

# 会報 さわやか 21

第13号 令和6年 2月21日発行



## 熊本城（宇土櫓）復興の進行状況 その1

撮影者：炭谷健一



二十一期会

会長 宮崎 敏夫

令和五年度は、五月にコロナ感染症法上の位置付けが五類に引き下げられ、報道も少なくなりましたが、水面下では感染が続いていますので、消毒やマスク着用等で感染防止を図っていく必要があると思います。

二十一期会で計画した行事も予定通り実施することができました。また、会報についても皆さんの協力により発行することができました。行事に参加されました方や、原稿を提出していただいた方に感謝申し上げます。

二十一期会も徐々に会員が減少し、班ごとの活動計画に支障をきたす可能性がありますので、総会等で相談しながら進めて参ります。また、表紙写真も熊本城から宇土櫓に変更され、復興まで長い年月が予定されていますが、引き続き見つけ続けていきたいと思いたす。

最後になりましたが、会員皆様方も健康に留意され、置かれた立場での活躍を祈念いたします。

### 令和5年度の活動報告

事務局 佐藤 テルミ

\*令和5年度会員38名

\*会計監査 令和5年4月6日(木)

益城町総合体育館にて監事の濱竹氏、緒方氏、会長宮崎氏、副会長清辻氏、会計上田氏、事務局長出席で令和4年度の監査を行い、全て承認されました。

\*第1回役員会 4月13日(木)

中央公民館にて令和5年度最初の役員会を班長、副班長の出席で開催。(隔月奇数月の第3木曜日AM開催)

\*パークゴルフ同好会 4月17日(月)

戸島ふれあい広場にてパークゴルフを5名参加で開催。偶数月、第3月曜日に実施する

\*第11回定期総会 4月27日(木)

中央公民館6F3にて開催、38名出席

\*阿蘇烏帽子岳及び山上広場散策

9名参加で開催 5月29日(木)

\*第5回花菖蒲鑑賞会 6月22日(木)

山都町の山崎邸を目指し9名で。清和天文台、男成神社も、最高の晴天なり

\*研修会(6班担当) 8月31日(木)

川津るり子氏「高齢者の消費トラブル」19名参加、終了後16名でランチ会

\*日帰り旅行(2班担当) 10月5日(木)

上天草市維和島「釣耕苑」19名参加でバーベキュー、クルージング開催

\*大学院市民公開講座 10月20日(金)

矢野大和氏「必要とされる喜び」14名参加

\*グラウンドゴルフ大会 11月2日(木)

華ほたるにて13名参加で開催 優勝、清島氏(6班)

\*新春祝賀会 令和6年1月11日(木)

(4班担当)水前寺共済会館「グレースシア」にて新年会25名参加 LTBボウルでボウリング大会 10名参加で開催 優勝、杉山氏(5班)



#### ◎定期総会のご案内と

#### 次年度会費納入のお願い

『定期総会』さわやか21期会定期総会 令和6年4月25日(木) 10時より「中央公民館6F第3」にて開催します。  
『会費納入』令和6年度のOB会費(年千五百円)は、3月31日迄にお願いいたします。

### 春の山都路へ

竹内 文子

「さわやか二十一期会」、今年も例年通り六月二十二日（木）において、先ずかわきりに山都町の「花菖蒲見学並びに清和天文台、男成神社」と三か所のコースで実施されました。当日、あいぽーと駐車場に佐藤テルミさん、緒方照美さん、井上美子さんと私は集合し、八時四十五分に出発。宮崎敏夫さんはじめ水島輝夫さん、續フク子さんたち三人が待つておられる小池高山IC入口にあるローソンの駐車場まで一路まっしぐら！。そこで合流した後、しばらくは高速道路をひた走って山崎邸に到着しました。ここで田中かずみさんとも合流して今回の参加人員が揃いました。

これから花菖蒲園の見学です。一昨年、昨年と参加させていたのですが、これまでとは違って道路を挟ん

だ向こう側一帯も菖蒲園となっていて、随分と花株も増加しており、目移りするほどの花々。整然と咲き誇っている様に思わず感激に浸りました。

☆そこで一句！

一面の中に

紫・白の

肥後菖蒲

竹内 文子



その中で特に印象に残ったのは、山崎さんの説明の中で、「普通の花菖蒲と肥後花菖蒲の違いが解りますか？」と問われたことです。説明によると「肥後花菖蒲は六枚の大きな花弁を持つている」とのこと。ああ、それで立ち姿が優雅でドレスシーな雰囲気を持ち合わせ、重厚な趣もあり、見ていてとても素晴らしく感じるのですね。皆さんを楽しませるために、丹精込めて栽培されたご苦労も感じられました。たっぷり花菖蒲の美しさを鑑賞させていただきました。きまして、ありがとうございます。

その後は「ふしみ食事処」で舌つづみ。ゆつくりと美味をいただきました。次は「清和天文台」です。しかし、この日はちやうど運悪く休館日。望遠鏡を覗くことは出来ませんでした。梅雨時期にもかかわらずこの日はめずらしく晴天に恵まれて、どこまでも続く一面の芝生と青空の中に白い雲が浮かび、中間には低山の連なる山々、まるで絵に描いたような景色。思わず童



心に返り全員で眼一杯はしゃぎました。勾配のあるちよつとした斜面を横向きで何度も何度も転がったり、各自思いきりのポーズを撮ってもらったり、実に楽しく過ごしました。その上心地良い初夏の風に吹かれて、何とも言えず



つつい羽目を外す結果となり、この感動だけは参加者全員いつまでも忘れない事でしょう。きつと！

最後は「男成神社（神宮）参拝」です。宮司様からいろんな話を拝聴するうちに、この神社の由来を知ることができました。

**主祭神**「皇祖三神」

天照大神

神武天皇

神八井耳命

(カミヤイミミノミコト)

神武七十六年（紀元五八五年）、神八井耳命の皇子健甞龍命（神武天皇の御孫）がこの地に南向された際、皇祖の三神を祭祀され、廟の社と尊崇されたことに始まります。今から二五九四年前命は阿蘇津姫と結婚され、新婚の住まいとされたのがこの地です。そして、姫はお産され、以後子孫は繁栄し、今も尚、阿蘇家として続いています。阿蘇十二柱を勧請し、広く崇敬を受け、第八十二代後鳥羽天皇建久三年（一

一九二二年）には素盞鳴男命を相殿に祀り、祇園宮と尊称。

**相殿**

素盞鳴男命

(スサノオノミコト)

櫛稲田姫命

(クシナダヒメ)

**境内社**

大歳神社、雨宮社、天神社等々、昔から名高い「大神様」の方々と連なるご縁に、深く感銘を受けました。

奉拝

男成神社

令和五年六月三日



健甞龍命が当宮で元服されたことから以来「男成宮」と称され、氏神と大變厚く崇敬されています。阿蘇家の元服式は必ず当社で行う習わしです。また、肥後八社の一つに数えられ、宇城三郡の惣領として神領二五〇町を有しており、国守、藩主の崇敬厚く、明治改革に際しては明治八年に郷社、明治四十年二月熊本県神饌饌幣帛料共進社に指定されました。

ちなみに、この神社には、二十一期生で山崎さんもご縁があるようで、また、田中かずみさんの曾祖父が昔庄屋さんをされていたことから縁があったと官司さんからお話を聴き、改めて二十一期生に今回お二人のご先祖様がいらっしやったことに、誇りさえ感じました。

今回の旅は本当に実りあるものになり、いろいろとお手配いただきました皆さんに感謝いたします。これから健康第一に過ごしましょう。



#### 熊本城の復旧について

熊本地震で被災した熊本城は二〇二〇年三月に特別見学通路が完成し、身近に復旧状況を見ることが出来るようになりした。そして二〇二一年一月には長塀が、同年三月には天守閣が完全復旧しましたが、熊本城の完全復興は道半ばです。

会報「さわやか21」では炭谷さんに撮影をお願いして天守閣の復旧状況を巻頭写真に掲載してきましたが、これからはいよいよ宇土櫓の解体、そして復旧作業が始まります。これからも引き続き炭谷さんに撮影していただきながら、宇土櫓の復旧状況を巻頭写真でお知らせしていくことにしました。

今回の巻頭写真は二〇一九年一〇月撮影の被災後三年経過した宇土櫓です。また、上段の写真は昨年四月に撮影されたもので、どちらも櫓に続く塀の倒壊や白壁の崩落などの被災状況をはっきりと見ることが出来ます。今年一月には宇土櫓全体を覆う素屋根が完成し、これからはこの写真のような宇土櫓の全体像を見ることができなくなりまし。二〇二六年までに解体が終わり、工事の設計、組立てを経て、復旧が完了するのは二〇三二年度の予定です。完成が待ち遠しいですね。

(文責…会報委員長)





天草エリア【上天草市】

釣精苑 ◎ちようこうえん

目の前がすぐ海と、釣り好きにはたまらない民宿。陸釣りはもちろん、オーナー所有の船で船釣りも、船の付け方から魚の捌き方まで丁寧に教えてくれるため、子どもと一緒に楽しめる。かんきつ収穫などの体験も可能。

☎0964-58-0830

〒上天草市大矢野町和505 ■IN15時  
OUT10時 送不定  
定1泊2食付き大人7500円〜、小学生4500円〜 運九州道松橋ICより1時間20分 2台

▼新鮮な刺身、煮付けやアラ汁など食事は海幸満載!



船釣りから魚のさばき方など天草ならではの魅力を満喫。

### 釣精苑

(オーナーは16期の鬼塚泰英さん)



## 日帰り旅行 忘れられない一日を、青い海とともに

### 天草 in 癒しの維和島 担当：2班

期日：令和5年10月 5日 (木)



鬼塚さんにはバーベキュー用の海の幸や野菜を始め、いろいろとご配慮いただきました。

## 感謝！感謝！



クルージングも楽しみました。



船長は三班の鬼塚さん

大矢野町、維和島へ

二班 井芹 涼香

十月五日「維和島バーベキュー」。ご参加の皆さんの協力で無事に終えることができました。ドライブの皆さんも快く申し出ていただきありがとうございます。ございました。天気は曇り空で一時はパニックでしたが、クルージングやバーベキューには支障もなくホッとしました。

この度の企画に場所を提供してくださった鬼塚さん、大変お世話になりました。我々が帰った後の片付け等、本当に迷惑をおかけしたと思います。本当にありがとうございます。バーベキュー用に準備していただいた鯛と小鯛。鯛の大きさにびっくり！。さすが天草。新鮮そのもので炭火で焼いた味は格別でした。その後鬼塚さん所有のみかん山でみかん狩りの体験。収穫した分はお土産にいただき、にっこり！。重ね重ねありがとうございます。

日止むなく不参加の田中さんから銀杏を。参加された方からも果物・野菜等いただき、ありがとうございます。ほぼ予定通りの時間帯に帰路に着くことができました。

最後に二班を代表してお礼申し上げます。ご協力ありがとうございます。



乾杯！



お土産にみかんをいただきました。

- 行程： 8時30分 熊本駅新幹線口駐車場を出発  
 9時30分 宇土マリーナにて各車合流のうえ出発  
 10時00分 釣耕苑に到着  
 クルージング・バーベキュー準備  
 12時00分 バーベキュー開始  
 14時00分 後片付け  
 14時30分 釣耕苑を出発  
 17時00分 熊本駅新幹線口駐車場にて解散



## グラウンドゴルフ大会について

清島 隆明

十一月二日(木)、御船町の「華はたる」にて第二回さわや大二十一期会グラウンドゴルフ大会を実施し、参加者十三名(男性七名、女性六名)は、九時半までに会場に集合した。

先ず、幹事からの大会要領説明の後、全員でラジオ体操を行った。

組編成を三組とし、十時に各コース同時スタート。赤、青、黄、緑の四コース三十二ホールを回るルールである。

当日は最高気温二十八度に達する、とても十一月とは思えない、そしてこの夏の猛暑を彷彿とさせる暑さの中、「華はたる」ではこれまで経験したことがないほどの難コースに悪戦苦闘。

ゴールポストが傾斜地、あるいは砲台にセットしてあるなど5打・打ち止め(スコア6打)がたびたび! ショートホール(十五m)での5打・打ち止めにはショック。ショートホールで

はホールインワン狙い、失敗しても2打で上がりたいところだ。次のホールでは、気落ちして多叩きと言う具合。そう言う中で、1組でホールインの叫びが上がる。今日は「ホールインワンを取ろう!」をテーマにしたものの結果、このホールの1本のみ(前回大会は8本)。

三コースを回ったところで、昼食。木陰のベンチで休憩。持ち込み弁当に加えてメンバーの方々からの差し入れをいただきながら、前半のプレイの反省など話が弾んだ。

十四時過ぎには全コースを無事回り終え、スコアの集計、表彰を行った。本日のグラウンドゴルフ大会の結果は次のとおり。

○成績順位 優勝・清島 準優勝・西山 第三位・杉山  
○ホールワン賞 宮崎  
○レディース賞 西山

(注)敬称略、「成績順位」は上位入賞者のみ掲載。

この大会は、プレイ中は暑さで汗をかいたが、プレイ終了後の木陰での休憩、表彰式の間には、疲れは癒え、快い気持ちになった。次回来年三月の大会での再会を約束して散会とした。





阿蘇茅刈り作業に参加して

宮崎敏夫

阿蘇牧野組合の冬場の収入源と野焼きリスキの軽減化、更に日本文化財を守る事への貢献を目的として、約五年

前から茅の有効活

用の調査や実証実

験に取り組み、各

牧野組合や野焼き

支援ボランティア

有志により、一月

中旬から、野焼き

が始まる四月中旬

頃までの茅刈りに

参加しています。



日本で茅が広く  
自生している場所  
は草原が広がる阿  
蘇と富士山の裾野にある御殿場ですが、  
特に阿蘇には、太くて長い良質の茅が  
自生しています。

茅場(草原)はあるが、いろいろな

事情で茅刈り

が実施できな

い産山周辺の

牧野を中心に

野焼きボラン

ティアで茅刈

りを実施して

います。

茅刈りは、山の上での作業であり、

雨や雪など天候の影響を受けやすく、

昨年は、目標としていた五〇〇束は

達成できませんでした。約四六〇束

束を制作することができました。

朝九時から午後三時半頃まで、平均

十五名前後で一日約二〇〇束を制作し

ています。

作業としては、直径五mm前後、長さ

一・五mから二・〇mの長さの茅をガ

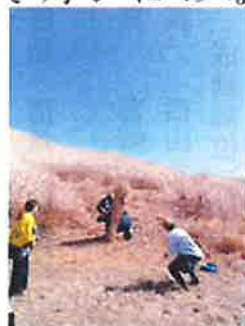
イドを取り付けた草刈機で刈り、約六

〇cmの大きさをビニール紐で三ヶ所束

ねますので、ある程度の体力を必要と

します。

制作した茅束は、年に数回大型トラ



ックで京都の業  
者宛て輸送して  
います。

茅葺き職人さ

んからは、日本一

の草原を有する

阿蘇の茅に対する期待は大きく茅束の

需要に対して供給が追いついておらず

不足しているのが現状です。

茅刈りは、厳しい条件での作業であ

り各牧野の参加者が伸び悩んでいます

が、引き続き地元牧野組合にグリーン

ストックの担当者の方から呼び掛けを

行っているところです。

野焼き、輪地切

り作業と共に茅

刈りについても

体力が続く限り

参加していきま

いと思っていま

す。



一班

今回は皆さんに「最近うれしかったこと」について、書いていただきました。

「最近うれしかったこと」

吉田 建設

今年二月十九日「熊本城マラソン・二〇二三」のフルマラソンの部を、五時間三十四分で完走したことです。

第一回熊本城マラソンの給水ボランティアをした時に、「松野明美さん」がニコニコ笑いながらいかにも楽しそうに走っているのを見て、自分も走ってみたいなーと強く思ったのがきっかけであった。コロナで中断した年もあったが、第二回から連続で八回フルマラソンを走りきった。一番早かったのが第二回熊本城マラソンの三時間五十四分八秒で、年を重ねるごとに時間はかかったが、八回もフルマラソンを完走

できたのが、何よりの自分の財産である。

最低でも三か月は走り込まないと足元がおぼつかない。ゆっくりゆっくりと目標に向かって練習を重ねる毎日が充実している！。



(阿蘇山頂のミヤマキリシマが、丁度見頃でした。)

「私が幸せに感じるとき」

清辻 弘敏

私の趣味は農作業。

家の畑には、生い茂る雑草と激しい生存競争をくりひろげながら、四季折々の野菜達がのびのびと育っており、毎日の食卓を彩る野菜の半分以上はこの畑で採れたものです。

野菜達も、子どもと同様思い通りにいかないことが多々ありますが、愛情を持って育てれば暑さ寒さに負けずくすくと育ち、豊かな実りを与えてくれます。

私の地域では、「初物を食べると七十五日長生きする。」との言い伝えがあり、初収穫した果実や野菜は報告を兼ねて御先祖に供えた後家族全員で味わいます。

私の最大の楽しみは、採れたての旬の野菜で作られた「おかず」たちを眺め味わいながら自己満足に浸ると同時に、「カラッカラに乾いた喉に一気に「アルコール飲料」を流し込むことです。

酒は「五臓六腑」に染みわたり「得も言われぬ」幸福感に浸る事が出来るのです。その日の気分と献立により異なりますが、酒は時に数種類に及ぶこともあります。

食事が終わり、ほろ酔い気分テレビの前のいつもの場所に「ゴロン」と転がり、数分経たずしてウトウトくらくらく「夢の世界」くらくらく

なんともいえぬ私の至福の時間です。しかし、そんな時間も長く続くはずもなく、妻や子どもから布団にいくように追い立てられ渋々床に就く毎日です。

「最近うれしかったこと」

松岡 和子

① コロナ禍で県外旅行を控えていたが、念願の西本願寺の法要に夫と二人で参加できたこと。厳かで心身ともに引き締まる思いであった。

② 高校の下宿仲間四人（京都一人、福岡二人、熊本一人）で福山駅に集合

し、鞆の浦に旅した。京都の友とはコロナ禍でもあり、前回の大谷山荘以来五年ぶりの再会。女性四人の旅なので、夜が更けるまで話題は尽きなかった。

③ 少しうれしかったことでは、高校の同期会があり、好きだった人の名前を出席者名簿で見つけたとき。でも、卒業以来半世紀超であり、どこ、どこにいるの？

「最近うれしかったこと」

井手由記子

私にとって、うれしかったとも疲れたともいえる事柄は、八月から九月にかけて福岡に住む娘と孫が入れ替わるように計十日間私宅に来たことでしょうか。特に孫娘が一人で来た時は、特に気を使いました。

土曜の夜、農業公園カントリーで催しがあるのを見に行きたいというので心配でラインでスケジュールを送らせました。

普通は食べない食材も買い足し、冷

蔵庫はいっぱいになりました。

私と孫の予定が無い日は一緒に食事に出掛けたり、スーパーに買い物に行くこともあり、果物を選ぶ時はスマホで美味しい見分け方を調べたりと、今時の子だなあと思いました。しかしスマホを見ていない時間が無い程で心配！。

帰る時は仏壇に手を合わせ「永いことお世話になりました」とお礼を言われて、十九歳の娘となりその成長をうれしく思いました。







「最近うれしかったこと」

岡部 節子

それは、今までに何度挑戦しても、うまくいかなかった『サギソウ』が咲いてくれたことに尽きます。二月末に細いヒゲのような根を植えてから待つこと五か月。小さな芽が出ては喜び、少し伸びてきてはワクワク、今にも咲きそうな蕾になってもまだまだ……。それから十日も待ってやっと花開いた時！本当に白鷺が舞っているような姿に思わず「神様はアーティストだ！」と声に出るくらい感動しました。

二〇二四年（令和六年）は

「甲辰（きのえたつ）」

干支（えと）は十干と十二支を組み合わせたもので、六十通りにもなり複雑なものです。庶民にも分かり易いように、十二支には音や韻によって馴染みのある動物を当てたとされています。そこで今年の干支「甲辰（きのえたつ）」について調べてみました。

「甲」は十干の最初の文字で、物事の始まりを意味します。身近なもので「甲・乙・丙・丁……」など優劣や順序を表す時に使っていますが、「甲」はその一番目に出てきます。

「辰」は

- ・ 十二支では、五番目
  - ・ 辰の方角は、東南東
  - ・ 辰の刻は、午前八時を中心とする約二時間（七時〜九時）
  - ・ 辰の月は、旧暦三月
  - ・ 陰陽は、陽
- 「辰」とう字は「蜃（しん・はまぐり）」



の原字で、二枚貝が足を出して動いている状態を表し、肉片などが動くという意味があります。中国では陽気

動いて万物が振動し、草木もよく成長して形が整った状態を表すとされています。

こういうことから、この「甲」と「辰」が合わさる二〇二四年甲辰の年は、勢いがよく活気にあふれる年、上昇の勢いがあり成長していく年とされます。また、たつ（龍・竜）は十二支の中で唯一空想上の生き物で、権力や隆盛の象徴であることから、出世や権力に大きく関わる年といわれています。皆さんも新しい何かに挑戦してはみませんか。



ふるさとの  
山に向かいて  
言うことなし

ふるさとの山は  
ありがたきかな  
石川啄木

夕顔瀬橋から望む岩手山



両親と共に

←りんごの手入れ

作業中の両親→

ふるさと

二班 續 フク子

十二年ぶりの故郷は私を優しく迎えてくれました。

九十五歳の両親、弟、妹、妹家族。

父は免許更新ができたそうです！

母を乗せて畑、診療所専用の運転手。

歩くのは遅いが軽トラックに乗るとビ

ュー！。母は軽い認知症。私がマスク

を取ると「アラー、よく来たね。元気

だった？ 何年振りかな？」と、いつ

もの笑顔。

私が友人に帰郷すると伝えると、二

十人集まって「フクちゃん帰るとク

ラス会が出来る！」大喜び！。お

しゃべりオシャベリ。あつという間に

四時間が経過し、楽しい。写真を撮る

のも忘れて！ お土産に携帯電話番号

付きの参加者名簿。

父からはロープ結びの見本と封筒に

入った一万円……。母がいない？

家の裏から出てきて両手にたくさんの

茗荷が……。『また来るね！』



**皆さんにちょっとご紹介!**

※ニューヨークタイムスで「世界で二番目に行きたい街」として盛岡市が取り上げられた。



JR盛岡駅



岩手銀行赤レンガ館

日本銀行本店などを手掛けた建築家辰野金吾の作品で東北地方に現存する唯一の建物。旧盛岡銀行本店として1911年(明治4年)竣工。1994年に国の重要文化財に指定された。



開運橋

北上川で分断された盛岡駅と中心市街地をつなぐ盛岡を象徴する橋。別名を「二度泣き橋」といい、転勤してきた人が「遠かった」と泣きながら渡り、転出するときは「去りがたい」と泣きながら駅に向うという。



南部曲り家

岩手県南部地方に存在した母屋と厩がL字型に一体化した建物。かやぶき屋根である。馬を家族と同様に大切にしていた様子が窺える。



びっくりドンキー本店「ベル」

**盛岡三大麺**

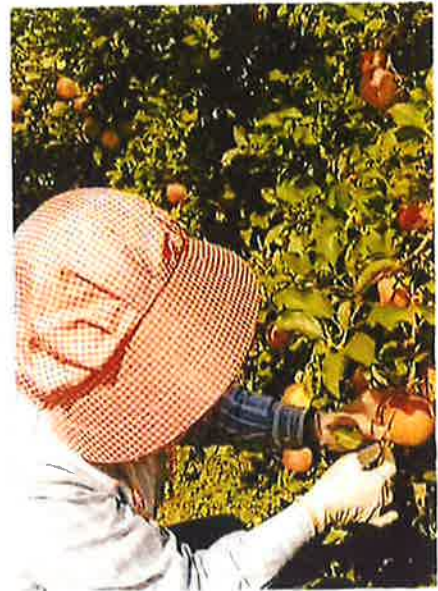
- ・わんこそば
- ・冷麺
- ・じゃじゃ麺







りんごの摘果作業



りんご畑で

岩手関係の朝ドラ

- ・どんと晴れ
- ・あまちゃん



※どんと晴れのタイトルローディングに使われた1本桜



子どもたちは何をしてるの？



## 四班

東京ふるさと人 く熊本く

山崎典義

※昭和五十四年（一九七九年）八月二十四日（金）の新聞記事から抜粋

悪く言えば偏屈、がんこ一徹、非妥協的。その一方で、既成の権威や体制からの高圧に対して反発する。したたかな抵抗の精神を持つ・・・熊本県人のこうした県民性を「肥後もっこす」という。群雄割拠、まとまりにくい人たちであることは間違いないさそうだ。

こういう県民性を反映してか、東京熊本県人会の活動ぶりは、他府県に比べて必ずしも盛況とはいいがたい実情だ。

同県出身の東京在住者は、一口に二十万人から三十万人といわれる。これに対して、県人会の加入者は、わずかに千六百人。さる四十九年には、県人

会発足二十周年を記念して、県人会名簿を作成し、約七千人に県人会加入を呼びかけたが、これに応じたのは六百人だけ。「群れを作るのをいさぎよしとしない」肥後もっこすの県人氣質がここにも現われた。



※同年六月二十二日（金）のく鹿児島くの記事から抜粋

毎年、秋のある一日、東京のど真ん中、有楽町の日本劇場に「鹿児島王国」が誕生する。開場と同時に場内は約二千人の鹿児島県人で埋まる。つけあげ、焼酎など地元特産物展がロビーに店開

き、郷土芸能や有名歌手のショーの合間に買い物客が殺到する。地元選出国会議員や市長、財界人らの顔見せもむろんプログラムに入っている。

年に一度の「関東鹿児島県人会連合会大会」の一コマだが、ひととき昔なつかしい故郷の空気に酔う鹿児島県出身の都会人がつくりだすその熱気には独特なものがある。関東地区の同県出身者は推定百万人。大小三百グループの会のうち約半分が組織され、四十人の常任幹事、百人のヒラ幹事で、がちり築かれたネットワークは他県にはみられぬ強力さで、いかにも鹿児島県人らしい。「最大の行事は日劇の大会ですが、日常的には新入学生の下宿の世話から進学や就職相談等細かくのっています」と同会幹事。

こうした活動を可能にしているのが、各官庁や民間企業など多方面に人材を送り込んでいる人脈である。

「鹿児島島のイモヅル」という言葉があるが、先輩を頼る・後輩の面倒を看



る・同郷を引き立てる気風がごく自然に表れても不思議ではなさそうだ。



棚の隅から出てきた四十四年前の新聞を読んで、現在の熊本県人、鹿児島県人の気質を比べてみるのも面白いでしょう。両県人の知人、友人を思い浮かべてみては？ なるほど、やっぱり・・・！

○ 知っていましたか？

「金海山 釈迦院」のこと

本尊は釈迦如来で天台宗・真言宗・禅宗・浄土宗の四宗兼学で、文政三年（一四四六）には、比叡山延暦寺の末

寺であったことから「西の比叡山」とも称されていた。また、信仰すれば、長患いすることがないとのこと、「ほつくり寺」とも呼ばれている。



「日本一の石段」のこと

平成の大合併による美里町が誕生する以前の中央町が、町おこしのために、釈迦院の御坂に造られたもの。昭和五十五年に着工し、八年の歳月をかけ昭和六十三年に完成した。

当時、熊本県知事であった細川護熙の「日本一づくり運動」に呼応し、そ

れまでの羽黒山（山形県）の二四四六段を抜いて、三三三三段の日本一の石段として整備された。石段には世界各国の名石を使用しているのが特徴で、熊本石をはじめ中国、韓国、インドネシア、ロシア、アメリカ、ブラジル、南アフリカの石も使用されている。



○ 川柳を三句

- ・ 素つびんに 隣の犬が 後退り
- ・ 遺産分け 位牌受取る 人は無し
- ・ 浪花節 何の出汗かと 嫁が聞く



## Enjoy Silver Age! 5班

### 今の楽しみ



隅田 伸子

朝のラジオ体操は続けて三十年。

窓を開け、その日の空を見る。刻々と変わる朝の光、雲の流れ。しばらくぼんやりと眺める。朝刊の好きな記事を読み、クイズや数独にはまる。図書館通いも三十年。いつでも枕元に数冊の本がある。

ベランダには好きなバンジーといろんな種類のチューリップの球根を植えて、春の開花を心待ちにしている。夕食は近くに住む娘の家族と共に、私のおふくろ料理と今風の娘の料理を頂く。ふとした時に窓から見えるカクテル色の夕景も好き。  
平凡な日常が今一番好き。

気の合う友人と楽しむウォーキングや旅行も二十年ほど続く。国内外、いろんな所へ行き、今日もバスで運動公園へ。何とか動けるうちにとも今も楽しんでい

### ボウリングの魅力とともに

杉山 光延

私とボウリングとの出会いは、高校卒業が間近に迫っているころブームが到来し、各地にボウリング場が設置された時期でした。初めてボールをピンに向かって投げた記憶でした。

高校を卒業し社会人となり働き始めた頃、職場ではボウリング大会が頻繁に開催され、友人たちはマイボール、マイシューズを持って早朝からボウリング場に出かけ夢中になっていました。私はあまり興味がなく関心もありませんでした。その後、数十年の月日が経過し、職場を退職したころ近所に住む知人に「ボウリング愛好会がある

から参加しないか」と誘われたのがきっかけでした。月一回の大会に参加するうちに夢中となり、マイボール、マイシューズを取り揃え、今ではボールも三個となりました。

始めた当初は何もわからないため諸先輩からルールの説明、競技場の注意事項、マナー等を少しずつ学んできました。次にボールの投球方法、レーンの仕組みやコンディション等の指導を





受けて、投球していくうちにボールをピンに向かつて投げている時の充実感を味わいながら心地良い疲れを感じています。歳を重ねる度に体力の衰えは否めないものの、人との出会いを大切にしてボウリングの奥深い魅力を追い求めてやまない今日この頃です。  
 (願わくば300点パーフェクト達成の夢)

田舎暮らしの中で

山口 哲廣

百姓家に生まれ退職後に生家で暮らし始めて二十年近くになる。近頃は生活様式の多様化で、従前からあったコ

ミュニケー  
 ション等の  
 豊かで濃密  
 だった近所  
 づきあいも  
 虚ろで顔が  
 見えないよ

うに思える。

具体的には、少子高齢化による地域活動の減退なのか、高齢者や子どもの見守り活動に限らず地域をどのように支えていくのか、将来への展望に期待ができないでいる。

時代が変わっても失ってはならないものもある。例えば、村祭りにしても「祭りが続けば地域が長生きする。」とも言われ、「守れるものがある限り守っていく。」のが私たちの努めである。

地域の崩壊とも言われる今日、自分たちの住む社会をよくしていく努力を惜しんではならない。

肥後狂句と私

笠 學(三步)

さわやか大学校で肥後狂句の授業を受けた。与えられた笠は「もう師走」と「心うきうき」であった。以前から町内の老人会長(さわ大十六期生)から、面白いからあなたも作ってみな

いと言われていたが、これまで実行できずにいた。しかし、授業時間内に投句しなければならず、切羽詰って二句を提出した。

・もう師走 窓は真ん中

拭いところ

・心うきうき 今日Bまで

はってこう

予期せぬことにこの句が授業の中で作句の事例として取り上げられて、先生の解説と講評を受けてしまった。



熊日肥後狂句選者  
 野方鈍牛先生と

これが私の肥後狂句に嵌った原因であり、さわ大の帰路には書店で「こらおもしろか肥後弁辞典」まで購入した。このことを老人会長に報告したところ、熊日の「きょうの肥後狂句」欄に投句しなさいと指導された。投句するにあたって、短歌をしていた家内の父親の雅号が「一步」であったことや「三步下がって師の影を踏まず」の格言もあることから「笠 三步」で投句することにした。老人会長は百句掲載されたら自作の肥後狂句集を自費出版すると頑張っておられるが、私は気楽に投句することにした。しかし、心が平穏でなければ言葉を思いつかず、自治会長の業務や熊本地震の事後処理で慌ただしかった五、六年間は投句することもなかった。元号が令和に変わって、老後のボケ防止のために投句を再開した。今では毎週月曜日の熊日文芸欄を見るのが楽しみである。

これまで投句したもので好きな句は次のものである。

- ・ 心配だよ 虫もつかずに  
まあた居る
- ・ Lサイズ どうし嫌アに  
惚れたるか
- ・ 毎日毎日 どぎやんしたちや  
飽かん酒

### 五 葦ペン画を描く

葦ペン画展も第四回目を「カフェミナミのかぜ」で七月三日〜二十八日の会期で開催することができました。周りからは「よく続いているね」と言われますが、批評しながらもお互いを認め合って楽しく描いているからでしょう。毎回観覧していただける方々から初回の作品とは随分変わってきたとの評価を頂けるようになりました。また、今回も「大牟田・荒尾地区葦ペン画展」にも出品することになり、課題の大牟田・荒尾地区の風景を描くために五月

にはスケッチ旅行にも出かけ、思い思いに万田坑跡や岩本橋を描きました。展覧会では藤彩会の孫田先生からそれぞれにご指導を受け、藤彩会の方々に一歩でも近づけるようにこれからも頑張っていこうと決意を新にしました。  
(文責：笠)





六班

阿蘇烏帽子岳及び山上広場散策

清島 隆明

令和五年五月二十九日(月)曇り空、熊本市内から阿蘇山が雲に覆われて見えない。前日までずーと晴天が続いて、当日を境に翌日から天気予報は雨マークがずーと続く。『まるで梅雨入りでもしそうな天気予報だね』と話していた矢先、気象台は『二十九日、熊本県を含む九州北部が梅雨入りしたとみられる』と発表したとのラジオニュースが流れる。

登山道路を走っていると霧が立ち込め、草千里に近づくにつれ濃霧となり、視界がきかない中、徐行しながらようやく草千里駐車場に到着。

阿蘇火山博物館前のベンチに、登山装備の女性の方々が待機しておられたので、声掛けしたところ、これから烏帽子岳に登るとのこと。間もなく阿蘇駅から到着したバスから、さわ大元九



班のメンバー中山さん(阿蘇市内牧に居住)が降りて来られ、先ほどの登山装備の女性と合流された。  
実は、事前に中山さんに烏帽子岳散策へのお誘いをしていたところ、女性七名が二十一期会メンバーと御一緒することになったわけである。



さて、この濃霧の中、烏帽子岳に登るか迷いながらも『登山実行』と決断。  
宮崎さんが先導し、西回りルートに登山口に向かって十時四十分に出発。  
登山道の道幅が狭いので、十五人の大パーティーとなった一行は長い列で進むことになった。山頂は、濃霧のため見えないが山肌の一部に熊本地震による崩落が見受けられる。休憩を入れないで登っていくと、高度が上がるにつれミヤマキリシマの花がピークを過ぎ



てはいたが、一部綺麗に咲いていた。山頂に到着すると、霧の中ではあったが思わず、登頂の喜びの歓声が上がった。烏帽子岳の標高1337m、草千里駐車場からの標高差約200m。ルート距離約2kmを1時間で登った。



山頂では休憩の後、東回りルートで下る。計画では、下山後草千里で昼食の予定であったが折角だから山の上で食べたいとの声上がり、山頂を少し下ったところで昼食を取ることにした。ところが、急に濃霧が晴れて、噴火している中岳が間近に見えるではない



か。改めて、今日烏帽子岳に登って良かったと感じた瞬間であった。登山道の辺り一面、ピンク色のじゅうたんのようにミヤマキリシマの花が咲いている。登山者にとっては最高の





喜びのひとつ時であった。  
博物館の方の説明では『下山してきた草千里ヶ浜は、烏帽子岳の側火山(側火山とは、火山の中腹や裾野にできた小火山)として活動した火口の跡。直径約1km。およそ二万七千年前に形成され、中央火山群の中でも最大規模の噴火を起こした場所とのこと。また、



二つの窪地のうち、西側の窪地が先に噴火し、次いで東側の窪地が噴火。二度目の噴火で吹き飛ばされた溶岩ドームの残骸が、草千里の中央にある駒立山である』とのことでした。  
十三時二十分 草千里駐車場に全員無事下山完了!



博物館前で休憩した後、阿蘇駅からバスで参加の中山さん等三名が、二十一期会メンバーの車に同乗して阿蘇山上広場へ向かった。  
山上広場の斜面に広範囲にミヤマキリシマが咲き誇っている。私たちは、『烏帽子岳及び山上広場一帯に三十万本のミヤマキリシマが群生!』を堪能することができた。  
記念写真を撮って山上広場から退散。



「道の駅阿蘇」へ向かった。道の駅阿蘇では、中山さん等と名残惜しくも別れ、道の駅の名物ソフトクリーム、地場産のグミの実を食した。

最後の目的地である隼鷹天満宮へ。

天満宮は北外輪山の麓を走る県道149号沿いにある的御茶屋跡に隣接したところにある。

案内板によると、『肥後藩主、細川綱利公（一六六一〜一七二二年）が参勤交代のため船で江戸に向かっている時、天候が悪化し激しい波に船が吞まれようとした。その時、一羽の白鷹がどこからともなく帆柱に飛んできた。すると荒れ狂う波はたちまち静まり、つづがなく渡航を終えて無事に上陸することができた。

藩主はその夜、旅宿で白鷹は的洞天満宮の権化との神諭を夢見、その霊験のあらたかなるを感じ、京都で社殿の建立を命ぜられた』とある。

天満宮は森林の中にあり、新緑が香る。秋の紅葉は見事で、多くの人で賑

わうようである。

北外輪山から湧く豊富な湧水が川となって流れている。細川綱利公お手植えと伝えられる推定樹齢約三百年のコウヤマキには長寿の気を貰った思い。

天満宮にお詣り、散策した後、コウヤマキの横の東屋で休憩。メンバーからの差し入れの「かるかん饅頭」を御馳走になり、烏帽子岳登山の疲れを癒した。

的御茶屋跡（私邸）を横目に、一路「道の駅大津」へ。予定時刻の十六時に到着後散会した。

今回の烏帽子岳登山は、最初は濃霧の中の決行と、先行きが懸念されたが、途中霧が晴れ、阿蘇のお友達との合流というサプライズもあり、記憶に残る烏帽子岳及び山上広場散策となった。



〔パークゴルフ同好会〕

初秋の

南阿蘇を満喫



十月の定例会は場所を変更して「長陽パークゴルフ場」で行いました。当ゴルフ場は阿蘇の雄大で美しい風景を見渡す見晴らしの良い場所にありコースが変化に富んで九州でも人気の高い所です。

熊本地震で被災し、その後も復旧に伴う資材置き場として場所を提供していたため復旧が遅れ、昨年本格的な営業を開始されたそうです。

施設やコースはよく整備されており以前にも増して楽しめるゴルフ場になっていきます。

参加者は五名でしたが、澄み切った

秋空のもと金モクセイの香りに包まれた全四コース（約二キロメートル）を巡り、久し振りに爽やかな汗を流す事ができました。

今期は、天候の都合により予定どおりに行う事ができませんでしたが、佐藤さんや續さんのホールインワンや様々な珍プレーが続出し、女性の活躍が目立った一年でした。

パークゴルフは、ボールを飛ばすゴルフと異なり、ボールを転がす誰にでもできる簡単なスポーツです。ボールを思いっきり叩き、仲間と談笑することで日頃のストレスを解消し、健康を維持向上させることができます。

当同好会は、偶数月の第三月曜日午前十時から主に「戸島ふれあい広場パークゴルフ場」で開催しています。

初めての方にも楽しんで頂けるように「ルールブック」や「優しく親切な指導者」を準備して、皆様の参加をお待ちしています。





**ウクレレ同好会**

昨年八月からは二か月に一回の練習にしました。だからといって怠けているわけではありません。昨年十一月十九日にはこの一年の練習の成果を「あいぽーとフェスティバル」で発表しました。当日は所用で欠席された三名を除

き、残る三名と他のウクレレ教室の二名の方の応援で、「カイマナ・ヒラ」など五曲の歌と演奏を無事に終わることができました。今年も既に発表曲を決めました。「手紙」や「真っ赤な太陽」などと少し難

易度が増しましたが、これから一生懸命に練習していきます。

●●●鳥の目・虫の目●●●

★☆☆ショート・ショート☆☆★  
**もうボケている？**

嫁 「そぎゃん毎日朝から晩までテレビにかじりついていると、今にボケますよ！。ちゃんと番組は見よるとですか？」

義父 「番組はテレビでは見よらん。番組は新聞に書いてあるだろが。そっちを見よつたい。」

嫁 「その番組じゃなかです。テレビの内容！。中味のコツですたい。ちゃんと中味は解つとなはるですか。」

義父 「俺は高校の普通科卒業だけん、テレビの中味は難しゅうて解らん。電気科卒業の友達も今のテレビの中味は修繕もでけんて言いよつた。」

嫁 「もうーよか。私は対応でけん。パパから義父さんに言つてよ！」

今年最も印象に残った言葉は「人はすべてに賢からず 一事に愚にして 一事に優れたるもあり  
東照公御遺訓」です。  
(西照女)

正月早々の悲惨な出来事を思うと、今後少々のことは我慢できると我が身を引き締めていけると思いました。  
(O.S)

この時期になると会員減少がすごく気になる。今の心情を綴ると「わが袖は潮干に見えぬ沖の石の人こそ知らね乾く間もなし」ということ。しかし体重に変化なし。  
(無患女)

一月恒例の市子ども文化会館「伝承あそび大会」で昔あそびの指導をした。日頃eゲーム等に夢中の子どもたちがサイコロの出た目だけ前に進む単純な双六に盛り上がるのが不思議だった。  
(狂龍)